

市が開催した「すごい！鳥取市ワーホリ！」というプロジェクトのワークショップに参加したことです。そこで、どうしたら鳥取市に移住してもらえるかという話し合いをしたのですが、家族で移住を考える場合に重要なのは女性目線の思考ではないかと考え、女性がときめくようなツアーとして「ときめきマルシェ」を考案しました。その後、ワークショップのメンバーで、鳥取大丸屋上の利活用の活動をしている「まるにわ」代表者の意見も聞きながら、実際にやってみようと山陰三ツ星マーケットが立ち上がりました。活動を始めて2年がたちました。が、現在は170店舗ほど集まり、そのエリアは鳥取全域と島根、そして但馬の広範囲に広がっています。店舗を持たず、子育てをしながら物作りをし、それを披露する場所として出店される店舗もあります。対面販売です。ファンづくりができて、出店者同士



お客様や他の出店者とつながる場所に

の仲間づくりにも効果が出ているようです。
市長 山陰三ツ星マーケットは中心市街地の賑わいの創出に大きく貢献いただいていると思います。鳥取市だけではなく、非常に広域で多くのみなさんが参加している、大変素晴らしい活動だと思います。今後も多くの人に駅前エリアを活用いただき、賑わいが創出されればと思います。
鳥谷 きっかけは今から10年ほど前に、用瀬町屋住にある大きな空き家を何かに活用できないかをご紹介します。私は美容師なので、ヘアショーを開いてみたところ、あまり宣伝していないのに当日100人を超えるお客様が来られてとても驚きました。空き家の持つエネルギーなのが分かりませんが、何か私も引き付けられるものがあり、この活動を始めました。最初は創作活動を披露する場として使えないかと

考え、陶芸家や写真家などのギャラリーとして活用したり、演奏や講演活動をする場所として活用するなど、とにかくいろいろな人に集まっていたできました。そんな中で、古くて懐かしい感じのするこの家に泊まることのできたらと思いい立ち、お風呂やキッチンなどを直して、昨年5月によく民宿としてオープンさせることができました。6月には外国のユーチューバーやプロガーなど、インフルエンサーといわれる人々が来てくださり、その発信力のおかげで情報誌や新聞、インターネットで見たと外国のお客様が多く来られるようになりました。外国の人には着物を着て梨狩りやネギ掘り体験などをしてもらい喜んでいただいています。



海外のメディアが民宿体験に来られました

何か取り組めたらと思っっています。また、用瀬の森にはクロモジというとてもいい香りがする木があったり、中山間地域には使われていない農地がたくさんあると思うのですが、そういった地域資源をどんどん活用できる仕組みができたらなと思っています。
源関 以前浦富海岸で「おそうじカヌー」というカヌーで遊びながら浜をきれいにするイベントを行ったことがあります。今は環境省の事業ではなく、地元の人々が活動を引き継いでくださり、この地域にはすごく熱い思いを持った人が多いなと感じています。自分たちの地域の魅力を知り、それを誇りに思える地域が輝くと思っっていますが、そういった熱い思いの輪が広がっていくことで地域が活性化していくのではないかなという気がします。

や魅力を知っていただく一つのツールになっていくと思います。
源関 私は山陰海岸国立公園の現場の管理官として働いています。仕事は、国立公園の景観や生息する動植物を守っていくことや、自然の魅力子どもたちに伝えていくためのふれあい事業などを行っています。山陰海岸国立公園は鳥取市から京都府京丹後市まで幅広く、私は鳥取砂丘、浦富海岸、兵庫県新温泉町の但馬御火浦までを管轄しています。鳥取市に来て最初の仕事は、2018年にオープンした鳥取砂丘ビジターセンターの整備でした。ビジターセンターがオープンしたのは利用者が少なくなっていく時期でしたが、昨年春、夏と利用者の多いシーズンを迎え、来てくださったお客様が展示やスタッフのガイドなどをとても楽しんで見たり聞いたりしてくださっているのを見て、この施設を整備して本当に良かったなと

思いました。現在は砂丘の西側エリアをどう活用していくかということに関係する人々と話し合っています。東側にビジターセンターができたことを契機に西側も活性化させていくための具体的な話が出てきたところですが、地域の人々と協力しながら、これをしっかりと実現していくのが行政としての仕事だと思っています。



自然保護と快適な利用ため国立公園を整備

に出店してもらっています。が、まちを歩けばこんなお店があったのかと、こういう物作りをしている人がいるのかと本当にかくさんの発見があります。私は、そういう人たちが自分の思いを形にしたものを発信するフィールドを用意して、継続していけたらなと思っています。

市長 鳥取砂丘ビジターセンターは砂丘の成り立ちや、自然、魅力を分かりやすく紹介する素晴らしい施設で、オープン以来本当に多くの人にお越しいただいています。また、砂丘の西側には東側と違った魅力がたくさんあると思います。また、十分生かしていきませんが、今後みなさんと砂丘西側の資源を掘り起こし、魅力発信に取り組んでいきたいと思っています。

鳥取市を盛り上げ魅力を発信していくためには？

渡世 私は自分で味わった魅力的な店舗を三ツ星マーケット

ちが自分の思いを形にしたものを発信するフィールドを用意して、継続していけたらなと思っています。
鹿見嶋 私のような取り組みをやってみたいと思う人が一人でも増えるように、発信し続けなければと思いますし、鳥取市にも、まちづくりファンドのような、新たな事業に手が出しやすくなる施策をたくさん作っていただけたらいいのではないかと思います。
鳥谷 私たちの取り組みが一つの成功事例となるようしっかりと続けていかなければならないと思いますし、参考になるような場所があれば出向いて行って、一緒に

何か取り組めたらと思っっています。また、用瀬の森にはクロモジというとてもいい香りがする木があったり、中山間地域には使われていない農地がたくさんあると思うのですが、そういった地域資源をどんどん活用できる仕組みができたらなと思っています。
源関 以前浦富海岸で「おそうじカヌー」というカヌーで遊びながら浜をきれいにするイベントを行ったことがあります。今は環境省の事業ではなく、地元の人々が活動を引き継いでくださり、この地域にはすごく熱い思いを持った人が多いなと感じています。自分たちの地域の魅力を知り、それを誇りに思える地域が輝くと思っっていますが、そういった熱い思いの輪が広がっていくことで地域が活性化していくのではないかなという気がします。

2020年にかける思い

今年は、食べ残しや野菜の余り切りなどで発生するフードロスを、デザインによって生まれ変わらせたりするようなイベントをやってみたいと思っています。
鳥谷 民宿事業をさらに充実させて、国内外からもっと鳥取市南部エリアに来てもらえるような取り組みをしていきたいと思っています。
源関 鳥取砂丘ビジターセンターが地域に愛され、より多くのお客様に楽しんでもらえる施設にしたのと、砂丘西側エリアの活用についてもしっかりと前に進めていきたいと思っています。
市長 みなさんから大変素晴らしいお話をいただき、私も何かパワーをいただいたように感じました。地域の素晴らしい可能性を最大限生かしながら、みなさんで力を合わせて進んでいこうと、思いを新たにさせていただきます。ありがとうございます。

座談会の模様は、いなばびよんびよんネット(12ch)で放送します。
 ▼日時：1月1日(水・祝)〜4日(土) 6:00〜12:00、21:00〜
 ほか、デジタル放送の電子番組表をご覧ください。